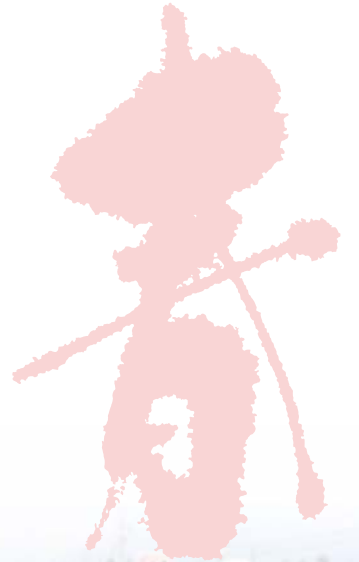


あさぎりの四季



水は温み 若葉萌える山々  
生命の輝きに彩られる里の春  
今を盛りに咲く色とりどりの花 花  
公園の桜の下 花見の宴に酔う人々  
たわわに実る真っ赤な苺 豊潤なメロン  
頬を撫でる風に心躍らされて  
季節は夏へと変わる



きらきらと眩しい陽射しを受け  
若鮎が躍る夏の球磨川  
ゆったり舞う螢火 花菖蒲の艶やかさ  
夏の夜空を染める打ち上げ花火  
照りつける太陽の隙間から  
降り注ぐ蝉時雨を浴び  
余韻を残したまま夏は過ぎる



夏



ふと見上げると どこまでも高く  
うろこ雲の浮かぶ秋の空  
野を吹き抜ける秋風に 尾花の穂が揺れる  
冴え渡る夜空にぼっかり浮かぶ丸い月  
麓城の燃え立つ紅葉  
灯下親しむ長い夜を楽しみ  
静かに秋は更けていく



秋



乳白色の霧にすっぽり覆われ  
静かに始まる冬の朝  
雪化粧の白髪岳、薄紅色の寒椿  
寒さの中 手が届くかのような  
満点の星空を楽しむ  
土の中から顔を出す小さなツボミに  
少しづつやってくる春の訪れを感じる